

千秀だより

自分で考え
表現し
挑戦し続ける子

横浜市立千秀小学校
令和8年(2026年5月1日)



5月号

～千に秀でる子の育成～ クラス名 R8
ラッキーミント ゴールドチューリップ
ダイヤモンド みんなのきずな 幸せのダム
失敗階段 時計 クレヨン

学ぼう わたしたちのまちのよさ
伝え合おう 未来へつなぐ 千秀 150周年

スタートカリキュラムとは

校長 平島幸江



校庭を取り巻く木々の緑と、ツツジの赤色やピンク色のコントラストが鮮やかな季節がまた、千秀小学校にやってきました。バス通り沿いの学校フェンスに、150周年記念事業実行委員会が児童に呼びかけて作成してくださった虹色のカラフルな横断幕が設置されました。さわやかな春の風と一緒に祝いムードでワクワクしてきます。

まずは本校恒例のクラス名が出そろいました。うまくつながりましたらご愛敬でお願いします！今年度は、生き生きとしたラッキーミントの癒しの香りに包まれて、優しさあふれるゴールドチューリップと笑顔あふれるダイヤモンドが光り輝く中、四つの願いでみんなのきずなが深まって、幸せのダムからの心の恵みをたっぷり受けちゃって、失敗の階段を勇氣百倍で着実に上り切り、決意と責任の時計を大切に守りながら、色とりどりのクレヨンで素敵なお作品を創りあげる千秀小学校を目指します。

入学した1年生もすっかり学校生活になじんできているように感じます。先日、1年生の教室を通りかかったところ、最上級生の6年生が新1年生と初対面し「よろしくお願ひします」の挨拶をしている時間でした。1年生を目の前にした6年生たちは、嬉しそう。今まで見たこともないような何とも言えない喜びの表情をして1年生の横にしゃがんで「うんうん」とうなずきながら1年生の自己紹介を聞いていました。人との関わりを楽しみ慈しむ本校児童のよさを再確認しました。1年生はそんな6年生の優しさや慈しみの心を一身に受け取って、5年後は最上級生として同じように目線を合わせてしゃがんでいることでしょう。千秀小学校の新しい1年間がまたスタートしました。

さて、1年生と2年生が生活する緑階段側の2階にフリースペースができました。戸棚や教材があったところを担当たちが片づけて、本を読んだり知育遊びをしたりするスペースに生まれ変わりました。これは、入学したての1年生への「スタートカリキュラム」の環境整備の取り組みです。授業の内容を20分程度の時間に集中して実施し、課題を終えたらフリースペースでリラックスして過ごすことが、1年生の児童にとっても心地よく、このスペースから会話が広がり、友だちの輪が広がる姿が見られているようです。入学当初緊張した表情だった子も最近は和らいで登校しています。

もう一つこのスタートカリキュラムの取り組みで、学校たんけんが始まりました。一人ひとりの「不思議の？(はてな)」を大切に取り上げ問題解決につながるよう、一つひとつの事象を丁寧に、教員がチームとなって、学びのしかけづくりに励んでいます。スタートカリキュラムとは、一人ひとりの児童の思いや願いを大切にする教育活動です。もっと言うと「先生の言うことをよく聞きなさい」という従前からの学習からの脱却で、「自分のことをきちんと話すことができる子」を育てる教育活動です。指示待ちではなく、主体的に自分の生活と関わろうとする子を育てる教育です。この1年生の成長を皆さんで見守っていただけましたら幸いです。

さあ、5月です。今年も千秀小学校は、運動会モードに早変わりします。今年の運動会は150周年の取り組みがたくさん予定されています。児童の「まちの人たちと一緒に祝いしたい」という思いがひとつ達成される思い出深いものになると思います。連休中は、新年度からの緊張していた身体を休め、連休明けからは運動会に向けて児童主体の学校行事に取り組んでいきたいと思ひます。5月23日(土)運動会当日は、皆様でお越しいただき、声援を送っていただけますよう、引き続き学校教育へのご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。